

## 性について勉強をしました。

7月2日（水）、3年生対象に性教育の授業を行いました。講師に産婦人科医の吉野一枝先生をお迎えして、「思春期のみなさんに知っておいてほしい性のお話」を聞きました。

生徒の感想からは、普段、他の人に聞きづらいことを学ぶことができ、良い機会になった、自分の体について詳しく知ることができた、世の中に間違った情報がたくさんあるけど正しい情報を聞くことができ、良かった等々、一人一人が真剣に向き合い、有効な時間を過ごせたようです。盛りだくさんの内容で、それぞれ印象に残った部分が違っていました。感想は、みんな紙面いっぱいに書かれており、これから生きていく上で、貴重な話になったようです。



### 感想から

今日の授業では、相手と真剣に話し合い、気持ちを尊重しあうことが大切だと思いました。性についての情報は、ネットや SNS などにも誤った内容が多くあるので、きちんとした情報源から学び、悩みがあれば一人で抱え込まずに信頼できる大人や先生などに相談するように心がけたいと思いました。

子宮頸がん予防のための HPV ワクチンは、男子も打った方がいいと聞いて驚いた。親と相談して、補助のあるうちに打っておきたい。

妊娠や月経による痛みや症状など、直接自分に関わることでないが、知っておいた方がいいなあと思った。自分の体のことを知り、コントロールしながら自分で決めることが大事だと学んだ。

性行為は大きな責任があり、避妊の重要性、コンドームの使用で感染症から守れることが分かった。何より相手の合意が大切だということが分かった。

ピルは知っていましたが、はっきりと理解することができました。生理不順や生理痛など何か心配なことがあったら、産婦人科に行くことを頭に入れておきたいです。

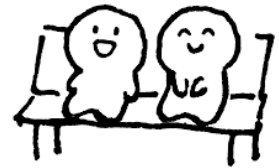
性暴力は、身体的暴力だけでなく、精神的、経済的な暴力もあると理解した。私は嫌だなと思うことでも「OK」と言うことが多いので、「NO」と言うことの大切さが知れて良かった。

性に関することは、あまり公的にはしてはいけない、よくないことだと考えていたが、もっと身近なもので恥ずかしいことではないと改めることができた。

自分の意志で選択し、決断することが何よりも大切なことだと学びました。

今からワクチンを打って、これからの自分のために予防していきたいと思いました。なりたい自分になるために自分の心も体も大切にして健康な体を作りたいと思いました。

自分を見つめること、コントロールすること、表現すること、認めることが大切だと知りました。コミュニケーションは一方通行ではなく、相手をコントロールしてはいけないことが分かりました。



私たちの成長には、性ホルモンが大きく関係していた。

いつもの保健の授業では学べないことを学べて良かったです。性となると恥ずかしいことだと思っていたが、これからのためにも向き合い、恥ずかしいことではないと考えられました。

性器の洗い方やマスターベーションについて学ぶことができて良かったです。

性は、体の性や心の性などいくつかの性があることを知りました。人それぞれに違いがあり、どれも間違いではないと知りました。

## 子宮頸がん(HPV)ワクチンについて

練馬区は  
男子も対象



日本では、約10年前、安全性が十分確認できるまで積極的に接種を推奨することを控えていましたが、令和4年から安全に問題はないとして、積極的な接種を推奨するようになりました。

今、小学校6年生から高校1年生までの女子および男子も、公費により無料でワクチン接種をすることができます。公費の補助がない場合の接種費用は、3回接種で約5万円～10万円です。

ワクチンの効果とリスクを理解して、ご家庭で話し合ってください。接種を希望する場合には、練馬区からの予診票に従って申し込んでください。

また、積極的接種の差し控えにより、接種機会を逃した方々には、キャッチアップ接種を行っています。詳しくは練馬区のホームページをご覧ください。

また、厚生労働省のリーフレットも併せて参考にしてください。